

I 岡山大学の理念，目的，目標等／薬学部の教育理念，目標等

岡山大学の理念，目的，目標等

1 岡山大学の理念 “高度な知の創成と的確な知の継承”

人類社会を安定的，持続的に進展させるためには，常に新たな知識基盤を構築していかなければなりません。岡山大学は，公的な知の府として，高度な知の創成（研究）と的確な知の継承（教育と社会還元）を通じて人類社会の発展に貢献します。

2 岡山大学の目的 “人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築”

岡山大学は，「自然と人間の共生」に関わる，環境，エネルギー，食糧，経済，保健，安全，教育等々の困難な諸課題に対し，既存の知的体系を発展させた新たな発想の展開により問題解決に当たるといふ，人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築を大学の目的とします。

このため，我が国有数の総合大学の特色を活かし，既存の学問領域を融合した総合大学院制を基盤にして，高度な研究とその研究成果に基づく充実した教育を実施します。

3 岡山大学の目標

(1) 教育の基本的目標

岡山大学は，大学が要請される最重要な使命である教育活動を充実させます。

これまでの高度な研究活動の成果を基礎として，学生が主体的に“知の創成”に参画し得る能力を涵養するとともに，学生同士や教職員との密接な対話や議論を通じて，個々人が豊かな人間性を醸成できるように支援し，国内外の幅広い分野において中核的に活躍し得る高い総合的能力と人格を備えた人材の育成を目的とした教育を行います。

(2) 研究の基本的目標

岡山大学におけるあらゆる活動の源泉は，先進的かつ高度な研究の推進にあります。

常に世界最高水準の研究成果を生み出すことをその主題とし，国際的に上位の研究機関となるよう指向します。

(3) 社会貢献の基本的目標

社会が抱える課題を解決するため，総合大学の利点を活かし，大学の知や技術の成果を社会に還元すると同時に，積極的に社会との双方向的な連携を目指します。

(4) 経営の基本的目標

研究，教育の目標を効果的に達成するため，大学に賦存する人材，財政，施設設備などの資源をトップマネジメントにより戦略的に利活用します。

(5) 自己点検評価の基本的目標

公的機関として社会への説明責任を果たすため，研究，教育，社会貢献，管理運営のすべての分野において不断の自己点検評価を実施し公表するとともに，その結果を的確に大学改革に反映します。

薬学部の理念，目標等

1 薬学部の教育理念・目標

薬学は，人類を含む生命の実態に基づき，

- 1) 解析：生命現象，疾病原因の分子基盤を解き明かす。
- 2) 創出：機能を制御できる物質を創出する。
- 3) 活用：開発・発見された物質の活用法を最適化し，さらに新たな活用の方策を創案する。

これらの活動を担う人材を育成するために，関連する基礎及び応用の科学並びに技術を修得させ，また自ら新しい知を創生するための，観察力・直観力・分析力・論理力・研究遂行能力・発信力を練磨する。さらに，社会的使命・倫理観を持ってその成果を正しく活用し，国際社会の発展に寄与する人材を育成する。

このため，薬学部は所属学生に対し，解析・創出・活用に共通の教育基盤を与え，薬学科では特にヒトに対する物質の「活用」を担うための専門的知識を身につけた人材（薬剤師）を，創薬科学科では，解析・創出・活用に係わる研究開発を担う人材を育成する。

2 薬学部ディプロマポリシー

人間性・倫理観に富む教養【教養】

自然や社会，健康や疾病など多様な問題に対して関心を持ち，主体的な問題解決に向けての論理的思考力・判断力・創造力を有し，医療や創薬に従事する人に相応しい，豊かな人間性や高い倫理観に裏打ちされた教養を身につけている。

目的につながる専門性【専門性】

医薬品の適正使用や開発研究を推進する実践的能力を発揮するための生命科学，疾病，医療に関する幅広い専門知識と技能を身につけている。

情報を的確に収集・活用できる情報力【情報力】

医療領域のみならず，自然や社会の幅広い領域の情報を自ら収集・分析し，正しく活用できる能力を有すると共に，効果的に情報発信できる。

時代と社会をリードする行動力【行動力】

医療領域のみならず，社会生活に求められるコミュニケーション能力，グローバル化に対応した国際感覚や言語力を有し，人との共感的態度を身につけ，地球規模から地域社会に至るまで，時代と社会をリードする行動ができる。

生涯に亘る自己実現力【自己実現力】

スポーツ・文化活動等に親しむことを含めて，生涯に亘って自己の成長を追求し，自立した個人として日々を享受すると共に，薬学や生命科学の発展に寄与するため，高い学習意欲を持ち研鑽を積むことができる。

薬学科・創薬科学科の理念，目標等

1. 薬学科の教育理念・目標

薬学科では，ヒトの健康を目的として物質を活用する。すなわち薬剤師としての業務を遂行するための専門的知識・技能・態度を教育する。さらに，これらを基にした解析・創出をも含む新たな知の創出を行うために，観察力・洞察力・分析力・論理力・研究遂行能力・発信力を練磨し，もって国際社会に貢献する人材を育成する。

2. 創薬科学科の教育理念・目標

創薬科学科では，解析・創出・活用の全てにわたり，ヒトを含む生命や，その変化（疾病・病態）との関連を視野に入れた研究開発を遂行するための専門的知識技能を教育する。さらに，これらを基にした新たな知の創生を行うために，観察力・直観力・分析力・論理力・研究遂行能力・発信力を練磨し，もって国際社会に貢献する人材を育成する。

3. 薬学科ディプロマポリシー

人間性・倫理観に富む教養【教養】

健康や疾病のみならず，自然や社会に関する多様な問題に関心を持ち，主体的な問題解決に向けての思考力・判断力・創造力を有し，医療に従事する人に相応しい，豊かな人間性や高い倫理観に裏打ちされた教養を身につけている。

汎用的な知識と技能に基づく基礎的専門性【専門性-1】

化学物質・生体分子・天然物質に関する総合科学の基礎的な知識と技能を身につけている。

ヒトの健康と医薬品に関わる知識と技能に基づく応用的専門性【専門性-2】

指導的立場で，医薬品の適正使用を推進し，医療現場で生じ得る様々な問題を発見，解決できる薬剤師としての高い専門的知識と技能を身につけている。

臨床・研究に関わる専門性と倫理観【専門性-3】

臨床・研究に携るために必要な基礎的能力と倫理観を身につけている。

情報を的確に収集・活用できる情報力【情報力】

医療，疾病，医薬品のみならず，自然や社会の幅広い領域の情報を自ら収集・分析し，正しく活用できる能力を有すると共に，効果的に情報発信できる。

時代と社会をリードする行動力【行動力】

薬剤師として求められるコミュニケーション能力，グローバル化に対応した国際感覚を有し，人との共感的態度を身につけ，地球規模から地域社会に至るまで，時代と社会をリードする行動ができる。

生涯に亘る自己実現力【自己実現力】

生涯に亘って自己の成長を追求し，自立した個人として日々を享受すると共に，医療の進歩と薬学の発展に寄与するため，高い学習意欲を持ち研鑽を積むことができる。

4. 創薬科学科ディプロマポリシー

人間性・倫理観に富む教養【教養】

健康や疾病のみならず，自然や社会に関する多様な問題に関心を持ち，主体的な問題解決に向けての論理的思考力・判断力・創造力を有し，創薬科学を担い生命科学のフロンティアで活躍する人に相応しい，豊かな人間性や高い倫理観に裏打ちされた教養を身につけている。

汎用的な知識と技能に基づく専門性【専門性-1】

化学物質・生体分子・天然物質に関する総合科学の基礎的な知識と技能を身につけている。

創薬研究に関わる専門性【専門性-2】

創薬研究の実践的能力を発揮するため，化学系，物理系領域並びに生命科学，疾病，医療等の生物系，医療系領域に関する幅広い専門知識と技能を身につけている。

情報を的確に収集・活用できる情報力【情報力】

生命科学のみならず，自然や社会の幅広い領域の情報を自ら収集・分析し，正しく活用できる能力を有すると共に，効果的に情報発信できる。

時代と社会をリードする行動力【行動力】

創薬科学を担い生命科学のフロンティアで活躍する人に求められるコミュニケーション能力，グローバル化に対応した国際感覚を有し，人との共感的態度を身につけ，地球規模から地域社会に至るまで，時代と社会をリードする行動ができる。

生涯に亘る自己実現力【自己実現力】

スポーツ・文化活動等に親しむことを含めて，生涯に亘って自己の成長を追求し，自立した個人として日々を享受すると共に，次世代の創薬科学を担い生命科学のフロンティアで活躍するために，高い学習意欲を持ち研鑽を積むことができる。

5. 薬学科コンピテンシー

学部 DP	学科 DP フレーズ	コンピテンシー（能力）	コンピテンシーの内容説明
教養	人間性・倫理観に富む教養【教養】	多様な問題に関心を持つ力	健康や疾病はもとより，自然や社会の多様な問題に関心を持ち，探求心を高めることができる。
		多角的・論理的に考える力	問題を多面的に捉え，解決に向けて多角的かつ論理的に考えることができる。
		医療人としての人間力	医療人としての教養とともに，倫理観，使命感および責任感を身につけている。
専門性	汎用的な知識と技能に基づく基礎的専門性【専門性-1】	総合科学の基礎的な知識	化学物質・生体分子・天然物質に関する総合科学の基礎的な知識を習得している。
		総合科学の基礎的な技能	化学物質・生体分子・天然物質に関する総合科学の基礎的な技能を習得している。
	ヒトの健康と医薬品に関わる知識と技能に基づく応用的専門性【専門性-2】	医薬品に関わる専門的な知識	薬剤師として医療現場で活躍する上で必要な医薬品に関わる高い専門的知識を習得している。
		医薬品に関わる実践的な技能	薬剤師として医療現場で活躍する上で必要な医薬品に関わる高い専門的スキルを習得している。
臨床・研究に関わる専門性と倫理観【専門性-3】	臨床研究に関わる基礎的な能力	医療現場での臨床研究に携わる上で必要な基礎的知識と技能を習得している。	

情報力	情報を的確に収集・活用できる情報力【情報力】	情報収集・分析力	幅広く興味を持ち、必要に応じて自ら情報を収集し、正しく分析することができる。
		情報活用力	情報の収集と分析を適切に活用することができる。
		情報発信力	情報の収集・分析・活用から、積極的に効果的な情報発信ができる。
行動力	時代と社会をリードする行動力【行動力】	コミュニケーション能力	医療現場において、言語的または非言語的な意思疎通ができる。
		共感できる力	医療人となることを自覚し、人と共感的な態度を持って接することができる。
		課題を発見・解決する力	医療人として責任感を持ち、自ら課題を発見し、解決に向けて取り組むことができる。
自己実現力	生涯に亘る自己実現力【自己実現力】	セルフマネジメント力	日常から、強い自己啓発の意欲を持ち、物事に対して積極的に取り組むことができる。
		自己研鑽力	医療社会への貢献を目標として、積極的に必要な専門的知識・技能を探求することができる。

6. 創薬科学科コンピテンシー

学部 DP	学科 DP フレーズ	コンピテンシー（能力）	コンピテンシーの内容説明
教養	人間性・倫理観に富む教養【教養】	多様な問題に関心を持つ力	健康や疾病はもとより、自然や社会の多様な問題に関心を持ち、探求心を高めることができる。
		多角的・論理的に考える力	問題を多面的に捉え、解決に向けて多角的かつ論理的に考えることができる。
		生命学者としての人間力	専門性を持って活躍する人としての教養、倫理観、使命感および責任感を身につけている。
専門性	汎用的な知識と技能に基づく専門性【専門性-1】	総合科学の基礎的な知識	化学物質・生体分子・天然物質に関する総合科学の基礎的な知識を習得している。
		総合科学の基礎的な技能	化学物質・生体分子・天然物質に関する総合科学の基礎的な技能を習得している。
	創薬研究に関わる専門性【専門性-2】	創薬研究に関わる専門的な知識	創薬研究の現場で実践的能力を発揮する上で必要な幅広い専門的知識を習得している。
		創薬研究に関わる専門的な技能	創薬研究の現場で実践的能力を発揮する上で必要な幅広い専門的スキルを習得している。
情報力	情報を的確に収集・活用できる情報力【情報力】	情報収集・分析力	幅広く興味を持ち、必要に応じて自ら情報を収集し、正しく分析することができる。
		情報活用力	情報の収集と分析を適切に活用することができる。
		情報発信力	情報の収集・分析・活用から、積極的に効果的な情報発信ができる。
行動力	時代と社会をリードする行動力【行動力】	コミュニケーション能力	国際的な現場で活躍するために必要な多言語力を身につけ、意思疎通ができる。
		共感できる力	人と積極的に協調性を持って物事に取り組むことができる。
		課題を発見・解決する力	自ら課題を発見し、積極的に解決に向けて取り組むことができる。
自己実現力	生涯に亘る自己実現力【自己実現力】	セルフマネジメント力	日常から、強い自己啓発の意欲を持ち、物事に対して積極的に取り組むことができる。
		自己研鑽力	積極的に必要な専門的知識を学び、実践的な応用力の向上を図ることができる。

7. 薬学科カリキュラムポリシー

「人間性・倫理観に富む豊かな教養」を涵養するために、教養教育科目やガイダンス・入門科目を提供します。

「汎用的な知識と技能に基づく基礎的専門性」を修得するために、物理・化学・生物系の基礎科目と実習関連科目を提供します。

「ヒトの健康と医薬品に関わる知識と技能に基づく応用的専門性」を培うために、基礎科目に関連付けた衛生系、薬理・薬剤系の応用科目と実習関連科目を提供します。

「臨床・研究に関わる専門性と倫理観」を培うために、応用科目に関連付けた臨床系科目と実務実習・卒業研究を提供します。

「情報を的確に収集・活用できる情報力」を獲得するために、合目的に広範な情報を収集し、的確に分析・精選した情報を活用できる演習・実習関連科目を提供します。

「時代と社会をリードする行動力」を身につけるため、日本語でのコミュニケーション能力を培う科目、外国語教養教育科目、実践能力を培う実務実習や卒業研究を提供します。

「生涯に亘る自己実現力」を育成するために、共感的態度を培う教養教育科目と早期体験科目、及びこれらを礎に他者との関わり方を学ぶ実習関連科目を提供します。

8. 創薬科学科カリキュラムポリシー

「人間性・倫理観に富む豊かな教養」を涵養するために、教養教育科目やガイダンス科目を提供します。

「目的につながる専門性」を修得するために、物理化学・分析化学、有機・無機化学、生命科学系の基礎科目を提供するとともに、それらと有機的に関連付けた薬理・薬剤系の応用科目を提供します。

「情報を的確に収集・活用できる情報力」を獲得するために、合目的に広範な情報を収集し、的確に分析・精選した情報を活用できる演習・実習科目を提供します。

「時代と社会をリードする行動力」を身につけるため、研究能力を培う薬学系実習や卒業論文実習を提供します。

「生涯に亘る自己実現力」を育成するために、コミュニケーション能力と共感的態度を培う教養教育科目を提供します。